

平成28年度第2回宗像市郷土文化学習交流館協議会議事録

○日 時：平成29年3月30日（木曜日） 15時から

○会 場：海の道むなかた館 講義室

○出席者：亀井会長、樋田副会長、海出委員、河窪委員、園元委員、藤委員、牟田委員

【事務局】 西谷館長、磯部部長、柚木課長、徳永室長、灘谷局長、安部係長、合島係長、井上主任主事

1. あいさつ

○事務局

皆様、こんにちは。ただいまから、平成28年度宗像市郷土文化学習交流館協議会を開催させていただきます。この度は宗像市郷土文化交流館協議会の委員をお引き受けいただきありがとうございます。2年間の任期ですがよろしくお願ひいたします。新たな任期となりますので、会長・副会長が決まるまで、事務局が進行をさせていただきたいと思ひます。最初に磯部よりご挨拶申しあげます。

○事務局

文化スポーツ担当部長の磯部と申します。いよいよ今年7月に世界遺産の登録が決まります。むなかた館については、ガイダンス施設ができるまでの間、ここの施設がその役割を担っていくということになってくるかと思ひておひます。29年度は少し世界遺産仕様のレイアウトのやり替えをしないとイケないと思ひておひまして、この協議会の中でも、その辺の論議をさせていただければと思ひておひます。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

2. 辞令交付（任期平成29年3月1日～平成31年2月28日まで）

事務局磯部より亀井委員、河窪委員、海出委員、藤委員、樋田委員、園元委員、牟田委員の順に辞令交付

3. 会長・副会長の選任

○事務局

宗像市郷土文化学習交流館条例施行規則第9条第1項の規定により会長・副会長は委員の互選により定めることになっておひます。どなたか推薦もしくは、立候補される方はございませんでしょうか。

○委員

亀井委員、樋田委員、前回に引き続きいかがでございませうか。

拍手で協議会委員の同意確認。

○事務局

それでは、会長は亀井委員、副会長は樋田委員でよろしくお願ひいたします。

ここからの進行は会長にお願ひいたします。

4. 報告事項

(1) 平成28年度 宗像市郷土文化学習交流館事業の状況について

資料1：平成28年度海の道むなかた館事業実績

○会長

事務局よりご説明お願ひします。

○事務局が資料に基づき説明

○会長

今の説明にご質問、何かお気づきになった点がありましたらどうぞ。

○委員

宗像大社にお参りにこられる方が増えており、東郷方面からの渋滞が発生することがあります。玄海コミュニティの駐車場・グラウンドを今年から開放することにしたので、神湊方面から入っていただくと歩いてわずかと案内していただくなど、案内の仕方を工夫していただくことによって、お客様に迷惑をかけないことになるのではないかと思います。それと今年、うまく成功した例が皆さんご存知のように、トイレを設けました。大正解です。以前は、皆さん我慢できずにやっていました。仕方がないと思いながら、ゴミを拾っていました。しかし、世界遺産となるとおもてなしということを全面的に出したときに、それでよいのかと。どうしても個人の車が中心となるため、渋滞により、2時間3時間と車の中に閉じ込められると、胃の調子も悪くなります。そういう意味では今年は良かった。これから先はそういう点も十分考えていただきたい。

それと宗像大社とむなかた館は隣ではあるが、歩くと結構遠い。土、日、祝日と表の広場をうまく利用して世界遺産にかからないような形で、広場で何か催しをやっているということで来ていただき、館の中をみていただくというような事を考えていくことも1つだと思っています。世界遺産登録に向けて、先々を考えて手を打っていく必要性、また新しい発想が必要だと思っています。灯籠は非常に人気があるので、やり方次第でイメージアップにつながっていくのではないかと思います。釣川の改善につくした人々の展示は、私も知らないことがあり、よかったと思います。

○会長

ありがとうございました。他にどなたか。

○委員

海出委員のおっしゃったことに関係していると思いますが、今年は1月5日に地域学芸員としてむなかた館にまいりました。今年はお天気もよかったので、成人の日あたりまでお客様がとても多かったというように聞いております。5日もここから5分ほどのところでさえも車で30分かかるといって渋滞していました。その時に宗像大社の人出に対して、むなかた館の入館者はなんと少ないことかと感じました。お正月の西谷館長のギャラリートークをしていただいておりますが、それを聞きたいと思ってこられても、渋滞で時間に間に合わなかったという方もたくさんいらっしゃったのではないかと危惧しています。発想の転換でそれを逆手にとりまして、宗像大社まで来られている方は、むなかた館で何かイベントをしていけば、それに参加することは時間的に可能だと思います。いろんなところから、また歴史に関心のある方、ない方、いろんなタイプの方が宗像大社にはみえています。むなかた館を知っていただくという意味で、絶好のチャンスだと思います。宗像大社との関係もあるでしょうし、こんなことはしてはいけないということもあるかとは思いますが、たとえば今からまが玉を始めますよとピラを配布したり、声をかけるといった外へむけての積極的な勧誘を行ったり、むなかた館の楽しさを知っていただき、口コミで広がっていくことでこれからの集客にもつながっていくのではないかと感じました。

○会長

ありがとうございます。

○事務局

貴重なご意見をありがとうございます。

交通渋滞の件につきましては、世界遺産対策部会というところがありますので、そちらで協議をしているところです。来年度の取り組みになりますが、大社にこられたお客様にいかにこちらにきていただくか、また、世界遺産のガイドシステム機能を併せ持っていますので、ここに

寄っていただいて、それから辺津宮、大島、奴山に行っていただくというのがいいかと思っています。お正月三が日のイベントの時には、大社に出向いてビラを配っています。それがないとなかなか海の道むなかた館に足を運ぶことはないだろうと思います。何らかの形で海の道むなかた館がどういう施設であるかを、みな様にアピールする方策を検討していく必要があると考えています。

○委員

実際にここにこられて3Dシアターを見られた方は、沖ノ島に行ってみたいという声はあるのでしょうか。

○委員

3Dを見られて、女性は沖ノ島へは行けませんので「少しでもいいので沖ノ島をみてみたいがどこに行ったらみるができますか。」とよく聞かれます。地域学芸員の方の中には詳しい方がいらっしゃるようですので、「ここへ行けばみるができますよ」とか教えておられて、実際に行かれた方が戻ってこられ、「ありがとうございます。今日は見ることができました」とご報告にきていただいた方もいらっしゃいます。

○委員

なぜその質問をしたかといいますと、私だと実際に見てみたいと思うということと、玄海東小学校の校舎の3階から大島と地島の陰にならずにきれいに見えます。お金はかかる話にはなりませんが、校長とも話し、今日の沖ノ島ということで、カメラでこの館にとぼして映し出していただいたり、うちも児童が減少して空き教室があるので、そういうところにパネル展示をしていただいたりの利用も大歓迎です。実際に他校の先生が来られて、真っ先に3階に上がられ、沖ノ島を見たりしています。入り口も3か所あるので、一番端の入り口から自由に上がっていただいて、出ていってもらっても構わないので、そういうことをしていただくのも1つの手かと思います。

○会長

そうですね。リアルタイムで見られるのもおもしろいかもしれませんね。よくサービスエリアがリアルタイムで流しています。今日はこの場所からこのような感じで沖ノ島を見ることができるといったものをパネルでやってみるのもおもしろいかもしれない。

○事務局

沖ノ島がいつも見るできないということで、今、考えているのは、沖ノ島の遥拝所に行ったとき、スマホを沖ノ島の方向にかざすと、本来あるべきところに沖ノ島がうつるとようなVRが来年度中にはできます。今のお話でありがたかったのは、実際に見えていてもわからない人が多いので、生徒さんとやりとりして教えてもらうだとか、私が個人的に思うのは、毎日記録し、今日は見えた、今日は見えない、その時の天気はどうか、温度はどうかというような記録をとってほしいです。そういう統計があると、雨の日の翌日がよく見えるだとか、気温がどういう時に見ることができたとか、記録をとっていただくと、非常によい資料になるのではないかと 생각합니다。この件については協議をさせていただきたいと思います。

○委員

学校は、朝一番に教頭が行って、全部鍵をあけて、最後に鍵を閉めます。そのため毎日見ることができ、窓の上に写真を置いて、ここに見えますと掲示していますが、天気がよいから見えるということでもなく、水蒸気で見えないこともあります。くもりの日でも見えることもあります。子どもたちは興味があるので、どんどん来ていただければと思っています。

○会長

条件が良ければ見れるということだが、比較的良く見えるところをパネルで「ここだと条件が

良ければ見れますよ。」とそういう案内をしておくとういことかと思ひます。

○事務局

世界遺産登録推進室でここなら見れますよというスポットを載せたパンフレットを作るようにしてあります。

○会長

そういったものを館に置くとか、宗像大社に置くなどしていただくとういことかもしれません。

○委員

地元で話をする中で出たのですが、女性の方が上がれないとうことか、ターミナルに行くとう「女性はなぜだめなのですか」ととうい問合せがあると聞きます。日本の人口の二分の一以上が女性です。そこへ行けないのであれば、こっちの方にその姿を復元してはどうかとうい意見も出ています。沖ノ島はこうなっているのですよと、ダイナミックな沖ノ島の再現を企業の応援をもらいながら作っていく必要があるのではないかと思ひます。やはり男性だけが中心ではありません。女性が行けないのであれば、体験できる場所を考へるとうことか1つではないかと思ひてあります。

○事務局

女性だけではなく、基本男性も行けないところとうことかなので、それを前提としてご理解いただひて、今のところは、行けない沖ノ島をどう見ていただくか、そのため3D映像を準備してありますし、先ほどの話に戻りますが、かういところから沖ノ島が見えますよ、普通の方でも見ることができると、体験することができるとうことか、私どももいろいろ考へをめぐらせながらやっていることは理解いただければと思ひます。

○委員

そうしてくると今後、年に一回やっている上陸会を一切させないとうことかですか。今言った解釈から判断すればそれはやめるのですか。今まではやっていたが、これから先はやめるのですか。

○事務局

それは違ひます。

○委員

それは別ですか。だったらおかしいのではないですか。

○会長

沖ノ島は宗像大社の信仰の場ですよね。信仰とうことか、今、県や市がやられている世界遺産を目的とするものと、ずれるところはあるはずです。だから本来信仰とうものを大事にしていこうとうことかであれば、行政が規制するのはおかしいわけか、それは基本的には大社の方で判断なさることかであろうと思ひます。その判断は行政側も受けることかになろうかと思ひます。行政が大社を越えることか、まずいと今の話で思ひました。

○副会長

今ご報告を聞いておひまして、入館者が14万いかないぐらいだとおっしゃっていましたが、私は立派なものだと思ひます。県内をみても15万、16万とうい入館者数をとれる施設はそんなにないです。ここはお正月の宗像大社の参拝に併せて開館されてすごい努力をされていると思ひます。地元はもちろん、学校や企業、多様なところと連携をされ、館長講座や体験学習、特別展、企画展など豊富な企画をされていると思ひます。かういすべてのことか今の入館者数を保っていると思ひます。敬意を表したいと思ひます。ただ入館者数の数値目標とうのがおありなのかとうことか、私は太宰府が交通渋滞で過去20年間、年始に天満宮へ行っていません。行きたくても行けないんです。九国博でイベントがあっているときは近づけません。かうい状況の中で逆に限度はあ

るのだろうかと思っただけですが、その辺はいかがでしょうか。

○事務局

一応、目標値は15万であげています。今後、世界遺産登録になってからは、2割アップ、3割アップを目指すとの指示もありますが、今のところは15万です。今お褒めの言葉をいただきましたように、いろいろなことをやってこの数字が上がっております。中には、ガラっとしているがこんな数字が出るのかという方もいらっしゃいますが、センサーのカウンターをつけていますのでそれなりの数字は入っているのかと思います。今後もいろいろなイベントをうちながらこのくらいの数値は保っていきたいと思っております。

○会長

さきほどのお話で上陸できないという話がありましたが、今ゲームの世界でバーチャルリアリティというものがありますが、例えば、メガネをかけると自分がその中にいるような感じがするといったもので沖ノ島に着いて階段をのぼって鳥居をくぐってというようなメガネをかけてバーチャルリアリティというものを体験できるようなソフトはできますか。そうすると女性の方も実際に沖ノ島にはいっているような感じがするのですけど。

○事務局

ソフトとしてはありますが、かなりの金額になります。世界遺産センターという話が具体的になってくれば、そういう中で検討がなされると思いますが、現時点でそういった体験ができるまでのものは難しいと考えています。

○会長

お金をかければそういうものはあるということですね。

○事務局

はい。

○会長

そうするとむなかた館に一機か二機導入すると、人を呼び込むものにはなりますよね。

○事務局

沖ノ島の大きな岩がゴロゴロとある凄さをみていただけるのはいいと思います。ただ、1人しか見れないという点があり、現実的には難しいです。

○会長

宗像大社に来られる方は、参拝がメインだと思います。大社に参拝にこられた方の中で神宝館に行かれる方のパーセンテージというものはこちらの館にこられる方の比較とか検討というのは意味があることですか。

○事務局

大社へお参りした方のどのくらいが高宮にいつているのか、神宝館にいつているのかという統計をとったことがあります。だいたいお参りに来た方の滞在時間がどのくらいかを算定するために行動パターンをとったことがあります。時間的にお参りして高宮へ行き、神宝館へ行き、その後むなかた館へ来るのに70分ほどかかります。

○会長

それともう1つは、学芸員解説というものをやってみるというのはどうですか。赤間駅のJRウォーキングでボランティアの学芸員さんが案内するようなことをやっていたと思います。ウォーキングでイベントを組んでみるとおもしろいのではないのでしょうか。

バス会社だけではなく、JRとタイアップして、ウォーキングというもので、大社や神宝館や鎮国寺やまた神湊まで行ってみるなどしてはどうでしょうか。

○事務局

JR ウォークはこの館の前を通っていくことがあります。その時にはリュックを背負っておられる方が寄っていかれていますので事前にもう少し連携していくというのは手かもしれないです。

○委員

私は、観光ボランティアには所属していませんので詳しいことはわかりませんが、聞くところによると、いろんなところからのツアーがありますが、観光ボランティアに連絡があり、その団体がむなかた館に来られるときは、館内は、中の地域学芸員が案内するように決めているようです。

○会長

そうですか。ツアーの中に必ず地域学芸員の方や館長が説明しますということを入れておいてPRするといいいのではないかと思います。

○委員

ただツアーの方は必ずむなかた館に興味があるとか、世界遺産に興味がある方ばかりではないです。第1目的が道の駅だったりする方も多いです。地域学芸員の方は、私はあまり上手にできませんが、皆さんそこまでしなくてもいいのというぐらい、積極的に説明してくださっています。

○委員

ちょっと皆さん方の考えと違うかもしれませんが、さきほどコーヒーなどを出すとおっしゃっていたので、70分ほどの滞在時間があるのであれば、コーヒーとおいしいケーキなどがあれば主婦としては非常にうれしく思います。宗像大社にはそういうものはないので、この館の中で準備されると、館の中で休憩しようとなるし、また、特別展の内容が宗像に特化されていることも、ここに来られた方が宗像についてもっと知ることができていいんじゃないかと思いました。

○会長

いろいろなご意見をいただきました。他にご意見がなければ次の報告事項へいきたいと思います。

(2) 国内推薦

○事務局

昨年9月上旬にイコモスから調査員がきまして現地調査が終わりました。11月の終わりにイコモスとのヒアリングを経て、ヒアリングで指摘された問題点、疑問点に対する追加情報を2月の末日にイコモスへ提出しました。これで推進会議でやっております登録活動は大きな区切りを迎えました。今はイコモスで審査がおこなわれて勧告がでるのを待っている状態です。

イコモスの勧告は、5月の中旬にでるのではないかと文化庁は言っております。

2年前の産業革命遺産群は5月の連休中にでたのですが、今年の国立西洋美術館は、5月の中旬だったので文化庁は中旬と見込んでいます。それを待つ一方、私どもは、登録になる前提で準備をすすめていまして、先ほど渋滞の話なども出ましたが、来訪者対策としてどうするか、神湊のターミナルでは約60台分の増設を完了しています。渋滞を緩和するために警備員を土日毎に配置するというように極力大きな投資をせずに済むような形で対応を考えています。辺津宮周辺についてもJAの駐車場を借りるだとか、大型バスが来たときには、旧玄海庁舎で待機してもらう対策を考えているところです。それと併せて大島に資料館がありました。これは合併してしばらく休館状態だったのですが、ここを大島におけるガイダンスセンター、大島の活性化のための施設として今改修工事をおこなっています。世界遺産の本登録は、7月2日から12日にユネスコの会議があり、その中で決定をされる予定です。それに向けて7月の中旬オープンの前で準備をしています。このむなかた館が資産全体のガイダンス施設であることに対して、大島交流館と言っておりますが、ここは島民と来島者の交流という意味合いで交流館とつけています。大島の方は、神宿る島として自分たちが沖ノ島を守り、沖ノ島に守られて漁をおこなってきた方たちなので、大島の人たちから見た沖ノ島がどういったものなのかという視点でまず、沖ノ島、そして大島の遺産を紹介します。そし

てその構成資産とは別に世界遺産を除く歴史、文化、自然、食べ物を紹介することで大島の活性化につながる施設となるように、大島の方とどんな内容が良いのかとワークショップ形式でやりながら、案もほぼ固まりましたのでそれにむけた工事に入っているところです。

○会長

ありがとうございました。そうすると5月中旬に勧告があり、7月から8月ごろには「おめでと
う」ということになるのかと思います。

○事務局

ユネスコの会議が7月2日から12日までで、その中で審議案件の審査は例年3日ぐらい予定さ
れているそうです。これを今年スケジュールに当てはめると7月7, 8, 9日ぐらいではなかろう
かと。審議案件の順番も文化遺産、それから自然遺産、複合遺産となり、国で言うとヨーロッパ、
中東、アジアになるので、だいたい2日目ぐらいが日本の資産ではなかろうかということで、8日
ぐらいになるかというのが私どもの感触です。

○会長

楽しみです。今のご説明にご質問、ご意見等ございますか。

○委員

勧告が出て、決定して、どのように来られると予測されていますか。例えば、クルーズ船とか、
また県外や県内で見込まれているのか。

○事務局

クルーズ船は、すでに福岡の港にきて、太宰府などにたくさんお客さんが来ているようです。す
でに太宰府、福岡方面が一杯で、宗像にもバスを回したいという話もきていますが、世界遺産が落
ち着くまでは、宗像にクルーズ船の関係のバスは回さないでくださいという話はしているよう
です。県内、県外からおみえになっていますが、最近は東京や大阪からも、大島に結構こられてい
るようです。ヨーロッパなど比較的にステータスの高いような人たちも、世界遺産となるとお見えになる
と思うので、海外からそれなりのお客さんはくると思います。当分は九州内ぐらいからたくさん来
るのではないかと考えています。

○会長

他にはございませんか。沖ノ島のまわりに何万トンではないけども船がウロチョロするようなこ
とは想定されていませんか。

○事務局

実は昨年も日本丸が軍艦島・沖ノ島・天草の方の教会群など九州の世界遺産や候補地をクルーズ
するというツアーを企画して、沖ノ島の島かげが見えるところをクルーズしているという実績はあ
ります。

飛鳥からもそういった問い合わせがあったり、基本沖ノ島に近づくことの制限は法的にできない
ということがありまして、近寄っていくのをダメだとは現時点では言えないです。市長は、今年の
施政方針で世界遺産に関する条例を作りたいということを言っています。なんとか近寄ることを規
制する方法を考えるとっています。

○会長

では次の議事へ。5. 議事のご説明をお願いします。

5. 平成29年度宗像市郷土文化学習交流館事業計画（案）について

資料2：平成29年度海の道むなかた館事業計画

○事務局 資料2により説明

○会長

コンセプト4つを明確に整理し、これを1つのベースにしながらかえ実施していこうということです。今の説明についてご質問がありましたらお願いします。

○委員

ご丁寧に説明頂きありがとうございました。2ページの世界遺産関連施設における位置づけ、宗像大社からどうこの館へ来館者を導いていくかと考えているにもかかわらず、海の道むなかた館から一方的に矢印が3つ出ているのは、現実的な考え方ではないと思います。やはりむしろ矢印はお互いに行き来する両方の矢印であると考え、ご活動を進めたほうがよいのではないかと思います。

○会長

今の意見をどのように考えますか。

○事務局

現実問題まさにその通りで、宗像大社に来られた方をいかに呼び込むかという事に苦心しております。実際来られた方のご意見を聞きますと、まずここで見て頂いてそれから神宝館に行った方がより分かったというお声を頂いておりますので、そういった事も含めて、より効果的に楽しんでいただける、また学習を深めて頂ける方向で考えております。

○会長

今日の資料は、どのようにオープンにされるのですか。どこかに発信されるのでしょうか。

○事務局

資料そのものを発信ということは考えておりませんが、これに沿って事業計画をしていくといくこととなりますのでマル秘の資料ということではなく、関係各所に話を持っていき、庁内各所での情報共有ツールということです。

○会長

他にも目にされる方がおられるということですね。他に意見はございませんか。

○委員

2点ほどあります。航空写真を載せるのはおもしろい取り組みだと思います。そこでコーヒーや軽食という事にするなら、残りのスペースに何人くらい座って飲食してもらうのか。前よりも狭くなるのではないのでしょうか。そういうようにとらざるを得ませんが、何席確保できるのかということと、また、天気の良い日は表でもコーヒーや軽食を食べて頂くといったやり方に対する取り組みも並行してやるべきではないのでしょうか。

館全体が、防水関係の対策はできていますか。このあたりが洪水になると、入口から見てみますと、あれは防水対策ではないです。普通の水漏れがおきます。それでなくても事務所は下が開きますのでそこから水が入ってきます。基本的には建物自体をどうしていくのか。そして心配するのは、防水対策です。洪水がもしあった時には、館全体が水浸しになります。その点に総点検をかけていただき、総合的なプランにして頂きたいと思います。

○事務局

まずショップのテーブル、椅子の数ですが、図面をみていただくと、一応階段のロッカー室の先まで航空写真となっておりますので、広さとしてはあまり変わりません。ただ、この中に、他のものを作り込んだり、観光情報のスペースを作りたいと要望が挙がっているのですが、若干減らすかもしませんが、現在のところは、椅子テーブルについては現状のまま考えています。屋外の飲食つ

いても、イベントとしてそういうブースを設けるなど考えていく必要はあると思います。防水対策は、防水工事はある程度のところはやった上での現状と聞いています。一度防水工事を施した上での現状ですので、以前ひどい水漏れがしていた所もある程度止められている状況になっています。また、文化財が入っている倉庫や収蔵庫等については、完全なメンテナンスが行き届いていますが、事務所は当面現状通りです。

○委員

防水対策は私が議員の時、完成と同時に、雨漏りが始まった。上の方には銅板を貼ったりしてきちんと出来上がっていますが、床面からの所で水が入っていく様な状況は変わってはないと思います。自動開閉扉については、仮に洪水になると水がどんどん入ってきますよ。問題は土に面した所の点検をして頂きたいと思います

○会長

そもそも土地条件などの根本的な問題からくるというお話でした。今回のリニューアルというのは展示内容のリニューアルの件です。ここに来る途中の電柱のところに宗像市が海拔5mとか、6mと貼ってあったので、そんなに低いのかと改めて思いました。津波など起こるか分からないですが海拔5、6mだとやられるかと思えます。博物館相当施設ということであれば、そういうことも長期計画にお入れいただくということになるのかもしれませんが。ご検討いただければと思います。他にございませんか。

○委員

いろんな施設に行ったことがあります。こういうシアターというものはだいたい有料なんです。100円でもとられた方がいいのではないかと思います。100円ぐらいであれば、皆さんみられると思いますので、少し稼ぐ方法を考えられた方がいいのではないかと思います。

○会長

館でお金の徴収は性格上できるのですか。

○事務局

実際に体験学習では材料費として100円をいただいております。財政当局からも自己資金を稼ぐように言われていますので、見合ったものを今後検討したいと思います。

○会長

他には。

○委員

ここの施設は、世界遺産のガイドンスに力を入れようと思っておられるのでしょうか。それとも宗像の民俗、歴史全体を紹介しようと思っておられるのでしょうか。何に力をいれようとしているのか、漠然としている気がしますので、改めてお尋ねさせていただきます。

○事務局

ガイドンス施設というのは、むなかた館の機能の1つとして考えておりました、多様な理念のひとつと考えています。

○会長

当面は、世界遺産を多めにやっていこうということだろうと思いますが、予算がむしろ削られており、リニューアルに対しても特別予算がついてないようなので、そうすると世界遺産と関連して、この館に予算はおりてきてないということですね。

○事務局

世界遺産がなければもっと減らされていると思います。宗像市全体で見るとかなりの額、世界遺産に対しては予算が使われているのではないかと思います。

○会長

例えば、1 ページの理念のところ、歴史文化という4文字が使われて、この意味するところは歴史と文化というように理解していいですか。それとも文化庁が歴史文化基本構想というものを平成20年ぐらいに出しています。中黒でもなくアンドでもない歴史文化という文字です。これは、文化庁がいうには有形、無形の文化財をメインにしていると説明しています。そして3 ページ黄色の交流のところ「歴史や伝統文化」になっていて、次の継承のところでは「郷土の歴史文化」となっています。歴史と文化ということ念頭におかれているならば、歴史と文化にするか、歴史・文化とした方がいいのではないかと思います。こういうものを作る時にはガイドブックが出ているはずなので、現に福岡県だと太宰府市が歴史文化基本構想を策定されていると思うのですが、宗像市の世界遺産絡みは別としまして、文化庁の基本構想に基づくような対応をとられていくのでしょうか。

○事務局

1 ページに書いてあります歴史文化については、平成22年の7月、基本構想・基本計画の中に出てくる文言ですので、歴史と文化ということではなくて、歴史に関する文化、このままの歴史文化を想定していたのではないかと考えています。ただし、本文中には、ご指摘にありましたように、歴史文化の使い分けをさせていただいております。まもる・つなぐ継承のところの歴史文化は、歴史の文化。それから交流の方は、歴史と交流の文化と考えております。海の道むなかた館としては、歴史と文化を今後発信していくようなところになるかと考えております。

○事務局

歴史文化基本構想は、文化庁が出しておりますが、私も京都までいき、研修を受けました。これはやはり最初に作りたかったとこなのですが、後手になって必要なものですので、今後作っていくべきものだと思っています。

○会長

広い意味でいろいろなことを検討されて基本構想を作った上で、例えば沖ノ島をどうするのかなど、むなかた館のコンセプトというか、なんというかそういうものにも関係してくるのだろうと思うので、どこでそれを審議して作るのか、せつかく世界遺産が進んでいるのであれば、それに合わせるか、検討していただきたいと思います。

○事務局

今、会長より貴重なご意見をいただいておりますが、文言の定義はすごくややこしいと実感いたしております。歴史文化関係、もしくは、むなかた館の計画としては、文化芸術10年ビジョンというのがございまして、この中で芸術面とかと合わせて、伝統文化の継承や歴史文化関係の位置づけをしております。文化芸術と芸術文化は、意味合いが変わってきます。場合によっては食文化も入ってきます。芸術文化になってくると芸術領域というものが狭義の領域になるというようなことなのですが、10年ビジョンは文化芸術ということで広義の定義を採用いたしております、この中では歴史系や文化財系も含めたところの位置づけがなされています。さきほどの歴史文化の基本計画云々というのは、世界遺産関係の計画が先行いたしております、なかなかそこまで取り組みができていないという現状です。

○会長

なぜ歴史文化にひっかかったかという教育研究という言葉があります。これをどう解釈するかという、教育と研究と解釈するのか、教育に関する研究とするのか、範囲が全然違います。歴史と文化という意味と今ご説明いただいた歴史に関する文化では少し範囲が狭くなってきます。そういう意味もあってどういうように理解して使っていったらいいのかと思いました。できるだけ生きるようにご検討いただきたいと思います。さきほど予算のところでも予算が限られているので、地域学芸員の方とか、もちろん館の職員の方とか、力を合わせてよいものをつくっていくということ

で大変だと思いますが、ぜひよろしくお願いします。予算のことで少しお伺いします。管理運営費の旅費が費用弁償で9万2千円あがっていますが、職員が遺物を借りに行く時の出張費が入っているのか、課として別の予算からでているのかが1つと、それに対して地域学芸員の旅費と書いてあり297万円とかなり高額になっています。地域学芸員の旅費とはどういうものなのでしょう。この2点教えてください。

○事務局

職員が遺物を借りに行く時の旅費等につきましては管理運営費及び展示活用事業費の中の旅費の中に含まれております。ただ、特に今回は特別展を開催しませんので、その旅費はありません。地域学芸員の方の旅費というのは、費用弁償で、1人につき1日来られた時に千円をお支払いしています。その方々が延べ人数にすると、かなりの数になりますので、この程度の金額が必要になってくるということです。

○会長

旅費という言葉に惑わされましたが、交通費と考えていいということですね。

○事務局

はいそうです。

○委員

展示室のリニューアルをするにあたって、ここの展示案内をする地域学芸員さんは、また新たな研修をお受けになるのでしょうか。

○事務局

地域学芸員の方に関しましては、昨年2回の特別展を実施しましたがそれぞれ展示内容がかわるごとに学習会をおこなって、ご参加いただける方には職員がその場で説明し、ご参加いただけない方には、マニュアルを配布するというようなかたちで、展示がかわるごとに学習の機会を設けています。

○委員

この展示ですと観ボラの方との棲み分けができると思うのですが。いわゆる沖ノ島や祭祀の歴史的事物は、展示からほとんどはずれているようなので、館内と館外とすみわけができるのだらうと思います。

○委員

リニューアル、どのようなものができるかすごく楽しみなのですが、このリニューアルは休館日等を利用しておこなわれるということで特に休館日を設けないということでしょうか。

○事務局

従来の特別展と同様に休館日や別の休みの時間を利用します。場合によると一日臨時休館というものも有り得るかもしれませんが、現在は臨時休館をせずに考えています。例えば一部分使用できなくなることもあるかもしれません。

○委員

わかりました。あともう1点ですが、資料2の2ページで以前にも発言したと思うのですが、どうしても宗像大社があつてのむなかた館なので皆さん本物が見たいということで宗像大社で時間を過ごされる方が多いと思います。私は、観光地にいきました時に勉強を自分ですればいいのですが、せっかく行ったのであれば1つ残らず見てみたい、見忘れがないようにと、気持ちが働くのですが、相手があることですので、先ほどおっしゃったように、ここには立ち入ってはだめなどもあると思います。

1つの指針として、一番はここに行ってみましょう、次にここに行ってみましょう、のような看板を立てて、来られる方にむけた1つのガイドはできないでしょうか。一般の方には、わかりやす

いのではないかと思います。

○事務局

情報発信の強化をあげていますので、モデルコースのように、初めて来られた方が周遊しやすいようなコースをつくったり、むなかた館が中心になるかは別として、情報を整理してお届けするという事も今後必要になってくると思います。

○委員

表に自転車を置いていますがこの稼働率が載っています。コース案内の地図か何かありますか。鎮国寺など自転車だと坂があるのでなかなか厳しい、ほかにも厳しい箇所もありますので、点検をして、コースを選択していただき、貸出しをする時にも、きめ細かな対応が必要です。地元の方は自転車を借りません。他の地区の方で地元の状況に疎い方が借りるわけですから、自転車でまわることも良いと思っていただけるようなコースを考えていただければと思います。

○会長

先ほどの予算に関して、体験学習は展示活用事業費の予算で30万あがっています。書籍を売ったということはこの予算の中に反映していますか。どの程度実績から見込まれているのか。

テーブルなどを置いて喫茶スペースを想定されているということなのですが、個人的な意見になりますが、すぐ横が全部トイレです。今もそうですが気になりました。特に飲食場とトイレ場ということで。その横のCの1は、企業展示コーナーでパネルの仕切りがあって、その裏に収納と書いて右側に埋文コーナーがあって、その外側が斜めになって奥のところの空調室外機置き場のところまで空間があるように書いてありますが、こういうところに喫茶物販施設を移すということはお考えになりませんか。せっかくリニューアルされるのであれば、飲食したり、食べ物を販売するところが、トイレに隣接しているのは気分的にもよくないですので、その辺はどうなのでしょう。

○事務局

予算で体験学習事業については展示活用事業に計上しておりますが、書籍の販売は管理運営費の中に含まれ、今年度で15万円ほどの実績だと思っております。物販につきましては、事業者へ直接入ることになっております。

ご指摘のレイアウトの件ですが、今、B5のところにはイス、テーブルが置いてありまして、現状と変わらないと考えております。先ほどご提案のあった埋文コーナーと書いてあるところは、完全なバックヤードでございまして一般の方が入れられるような状況ではございませんので、それに供する場所ではないように考えております。飲食のブースについては現状の通りとなります。

○会長

わかりました。業者が入っているということですが家賃は徴収していますか。

○事務局

こちらから委託していますので賃料は発生しておりません。

○会長

販売したものの収入は全額業者へ入るということですか。

○事務局

はいそういうことです。市へのマージンはとっておりません。前に違う業者が入っていましたが不採算を理由に撤退をされて、販売業者を募集するのが困難になりまして、現在なんとかやっている状況ですので単価も安いものが多いので、そこから売上マージンを取るのは難しいところでございます。

○会長

普通はいくらかいただいてもよさそうに思いますが。それと市役所の入ってすぐ左側にコーナーがありますが、どこかの授産施設の方が入っていると思います。そういう業者の想定はされません

か。

○事務局

今のショップとインフォメーションについて現状のままで考えています。ただ販売の品目については考える余地はあるのかなと思いますが具体的に検討は行ってないです。

○会長

収入を増やせということであれば、そういうことも考えていいのではと思います。

○事務局

少し補足しますと採算がとれて儲かる施設であれば、会長がおっしゃるように家賃収入や物販に依じて何%となるのですが、こういう施設の物販販売は厳しいということをご理解いただければと思います。ここの施設が、多くの方がこられて、儲かる施設であれば、当然市としても利用料をいただくということになるのですが、施設の性格上なかなか難しいというのが現状です。

○会長

はいありがとうございました。余計なことをお尋ねして申し訳ありませんでした。

では、議題へのご質問やご意見はございますか。

○副会長

全体事業計画内容をお聞きして、本当によくできた計画案で、おそらく15万人は十分達するだろうなと思います。ざっとした言い方で恐縮ですが、宗像は市民力と市民と協働する行政力がイメージです。

そういう意味では県内でもリーダーシップをとられる自治体で、宗像市は次に何をやるんだろうと、どのようにもっと発展されていかれるのだろうかというように、私自身は宗像市をみつめております。今日の討議を聞いていても委員の皆さんのご討議もすばらしいし、それに行政の方がきちんと応えられています。それでお願いなのですが、実はお正月に九州国立博物館開けるきっかけになったのは、館長と阿川佐和子さんの対談の中で、阿川さんが「太宰府天満宮もあるのにお正月開けられないのですか」とおっしゃった一言で決心をされたそうです。阿川さんの感性もすごいし、それを受け留めた館長のすばらしさ、それで現在お正月も開けるようになったという状況があります。たった1つのことを受け留めて実現にもっていくというすばらしさを宗像市はできるのではないかと思います。自分の経験の中で行政の縛りがたくさんあるのはわかっておりますし、規制の中で最大限の努力をされていることもわかるのですが、委員の方が「もっともっと思い切った発想をやらね。」とおっしゃったり、また「本当に疲れた時にお茶にケーキがあるとすごくうれしいんですね。そういう役割はできませんか」とおっしゃいましたけど、そのような中にヒントがあるのではないかと思います。できない事をどうやったらできるのか、規制緩和は本当に不可能なのか、少しそこへ向けて打ち破っていくこともされたらどうかと聞きながら思ったところなんです。そういう意味で宗像市がもっと発展していただいたら、太宰府市もそれを見習っていきたいと思っております。

○会長

それでは、5の議題の事業計画（案）承認ということでよろしいですか。

○事務局

計画案に基づきましてリニューアルもできますので、もう少し具体的なものができたら諮っていただきたいと思っております。この事業計画（案）はこれとして念頭においていただければと思います。

○会長

議事ということで、たくさんご意見をいただきましたので、担当の方はご参考にしていただければと思います。それでは了承したということにさせていただきます。よろしいでしょうか。それでは5の議事を終わらせていただきます。6のその他は事務局の方からは何かございますか。

○事務局

特にございませぬ。

○会長

先ほど辞令をいただきましたが、辞令の期間ですが、第1回目が平成24年と第2回目の26年の間には5ヶ月のインターバルがあつて、今回2回目が平成28年9月30日までの任期だったので、今度が平成29年の3月1日なので半年近くのインターバルがあります。その間は協議会が不在というかたちになると思ひますが。実質は2回の定例の会議ということで、クリアーされていますが、協議会の任期として特に問題ないでしょうか。

○事務局

制度上問題ありません。決裁をとつて辞令がでた日から2年間お願いするというこゝで運営をさせていただいております。間があつても問題ございません。

○会長

ありがとうございます。皆さん他に何かございますか。28年度の2回目の協議会は終わります。